

令和6年度第3回 学校運営協議会開催

令和7年2月4日

第3回の学校運営協議会を開催しました。第3回協議事項の中心は、学校経営計画に基づく学校評価の承認です。

まず、学校長から、学校経営計画に基づいた教育内容、取組実践、児童生徒の変化や評価についてパワーポイントスライドを各委員さんに見ていただきながら説明、報告を行い、質疑応答やご意見をいただきました。

本年度、同協議会の協議の柱としまして、「在学中、及び学校卒業後、児童生徒一人一人が個の有する力を発揮し、自立して自分らしく生き生きと社会参加(社会貢献)できる「人」を目指し、個別最適な教育を保障する」としました。

そのテーマに沿ってスライドを作成し、ご覧いただきながら協議を行いました。

委員の方からは、

- ・「あいさつ」の大切さを実感している。中には「できない方」「しようしない方」もいらっしゃるが、「しなかった」方が率先してあいさつをされるようになり、みんなもするようになった。集団の意識は大きいと感じた。
- ・防犯カメラの設置を行った。今後も(子供の安心安全を確保するために)尽力していきたい。加えて、子供さんの通学時、朝の見守りを続けて行っていきたい。
- ・学習活動の取組スライドを観たが、学校で習ったことは非常に大切であり、子供の力(得意なこと)になる。絵を描くことが好きな人がおられ、過日開催した「未来の匠展」でとても立派な絵画を出展し、多くの方から賞賛された。聞くと、学校在学中に習ったということであった。また、学校の授業でミシンを習い、何年も経って、ミシンを得意に扱っている姿をみた。尋ねてみると、学校の授業で習った、とのことであった。学校在籍中に授業で習った経験は、ずっと活かされる、大切であると考える。
- ・附属学校で行っている「研究活動」について、実施した後の評価や意見、自校の取組などの実績を可能な範囲で調査してもらえればと思う。

などのご意見を頂戴しました。

取組を踏まえて、本年度の学校経営評価について全員の承認をいただきました。

